



鳥取市教育センターだより

第2号 平成26年5月20日発行

〒680-0053

鳥取市寺町150番地

TEL 0857-36-6060

FAX 0857-26-3878

E-mail kyo-center@city.tottori.lg.jp

空気を感じて

野山の緑も一段と深みを増し、初夏の訪れを感じる季節になりました。教育センターから眺める久松山の雄姿は、見るものに元気を与えてくれます。

さて私事ですが、先日入浴中にふと「大事にする」ってどうすることなのだろうと考えました。私たちはよく「子どもを大事にした教育を」とか「子どもが主体的に活動する授業」などと言います。しかし、具体的にどうすることが子どもを大事にしているのかと問われると、人によってその答えはまちまちなのではないでしょうか。つまり、私たちは過去の経験やその言葉の前後の文脈さらにはその場の空気から、自分の判断によりその言葉のもつ意味をとらえていることが多々あるように思います。このように考えると、経験の浅い子どもたちに投げかける言葉は、より具体的でどの子にとってもわかりやすい言葉である必要があると思います。

また、私たちは普段大なり小なりその場の空気を感じながら社会生活を営んでいます。言い方を変えれば「時と場」に応じた言動をとっているといってもいいでしょう。最近、クラスの中で気になる行動をとる子どもが増えていると聞くことがあります。これは、その子の持つ特性によるものもあるでしょうが、様々な生活経験や社会経験の乏しさから生じている場合もあると思います。また周りの子どもたちの状況によることも考えられます。いろいろな要因があると思いますが、自分の投げかけている言葉が子どもたちにとって具体的でわかりやすいものなのか、また自分が学級や職場の空気を感じながら生活しているかを再度振り返ってみることも必要なのではないでしょうか。



5・6月研修会予定

- | | | |
|----|-------------|-----------------------------|
| 5月 | 28日(水) | 外国語活動支援員研修会 |
| | 30日(金) | きなんせ！先生のための English World 1 |
| 6月 | 3日(火)・5日(木) | ディスレクシア演習研修 |
| | 7日(土) | きなんせ！English World 1 |
| | 27日(金) | 学級経営研修会(小3・4担任希望者) |
| | 30日(月) | 小中一貫教育研修会(校区研究主任代表) |

この他にも、各種団体の研修会等が予定されています。研修室の利用を希望される場合は36-6060まで。

教育支援係より



5月連休が終わり、子どもたちの登校や学校生活での様子はいかがでしょう。

行き渋りや不登校につながらないよう、学校全体での早期の対応が必要です。以下の点を参考に、未然防止に取り組んでいただけたらと思います。

【欠席する児童生徒への対応のポイント】

1 欠席理由の把握を

連絡を受けたら、欠席の理由が何なのかを確認しましょう。はっきりしなかったり、通院したりする場合は、再度保護者から連絡をもらうことも必要です。

2 1日欠席は電話連絡、2～3日欠席は家庭訪問を

担任（学校）は、家庭訪問を行い、児童生徒の様子をつかむことがとても大切です。本人や保護者と顔を合わせて話し合ったり、心配する気持ちを伝えたりすることで、安心感が生まれ信頼関係が築かれていきます。学習や活動の遅れにも素早く対応しましょう。

3 欠席児童生徒についての共通理解を

欠席理由がはっきりせず、2～3日続く場合には、管理職、養護教諭、不適応担当教員等と情報を共有し、欠席が長引かないよう、必要に応じて対策を話し合しましょう。

4 7日目が分かれ目

1週間も欠席が続くと、教室にとっても入りにくい状況を生み出してしまいます。保護者も子どもが家にいる状況に慣れてしまい、長期欠席につながることも予想されます。支援チーム等で話し合い、必要であれば専門機関等に相談することも大切です。

5 学校と児童生徒・家庭との架け橋を保つ

欠席が長引くと、家庭が学校の情報をほとんど知らないというケースも出がちです。学校や学級の様子を伝えたり（本人に会えない場合も）、家庭の思いを確認しながら学校としての考えを伝えたりするなど、つながりを絶やさないようにしましょう。

適応指導教室から学校に電話連絡をとることがあります。窓口の教頭先生は、毎日多用の中、学校に行きにくい児童生徒の様子や家庭とのやりとりについて把握しておられ、学校内の情報交換が密になされている様子をうかがうことができます。教育センターとしましても、少しでも学校の力になれるよう取り組んでいきたいと思ひます。

研修企画係からのお知らせ

鳥取市教育センターでは、今年度は2つの柱を立て、次のような研修を企画しています。

指導力・授業力の向上

- 講師研修会(8/19、1/23) 常勤講師約 140 名対象
…鳥取市教育の重点課題について指導の基礎・基本を学びます。
- 学級経営研修会(6/27、8/1、12/5) 原則として教職経験 5 年程度の小 3・4 担任希望者
…小学校中学年に焦点を当て、特別な支援を要する子どもとどう向き合いながら学級づくりを進めるかなど、学級経営の具体的な手立てについて研修します。
- 小中一貫教育研修会(6/30、12/15) 中学校区から研究主任 1 名
…取組の情報交換を通して、9年間を見通した研究実践の充実につなげます。
- 道徳教育研修会(小教研・中教振との連携で実施) 道徳主任等
…道徳郷土資料集「鳥取市の志」を活用した授業づくりについて実践をすすめます。

新たな課題への対応

- 外国語活動
 - (1)きなんせ！ English World (6/7、10/25、12/13) 小学校 3～6 年生希望者
…ALT等とのふれあい体験を通して、英語によるコミュニケーションへの関心・意欲を高めます。
 - (2)きなんせ！ 先生のための English World
(5/30、7/11、8/8、11/28、1/16、2/20) 小学校教員希望者
…ALT等とのコミュニケーション体験を通して、英語への親しみや英語力向上につなげます。
- ICT教育(11月下旬) タブレットPC導入校の担当者
…タブレットPC等を活用した児童生徒の学習意欲を高める授業づくりの情報交換を行います。

この他にも、学校のニーズに対応した研修を企画する予定です。